

「地理歴史（世界史）」の出題の意図

第 1 問

第 1 問は、国連事務総長ウ・タントが 1964 年に国連貿易開発会議の発足に際して行った演説の一部を読み、その背景にある歴史的状況を踏まえたうえで、解答することを求める問題です。問(1)ではウ・タントがいう「諸民族の政治的解放」の現実についての知識と理解を問うています。アジアやアフリカでは、第二次世界大戦後に多くの国々が独立しました。しかし、その独立国の歩みは曲折に満ちたものであったことを、1960 年代という時代に即して具体的に指摘することを求めています。ここに掲げた四つの語句は、その導きとなっています。問(2)は南北問題が生じてきた歴史的経緯と、その問題解決の試みについて記述するものです。ウ・タントが「発展途上地域」について発言している内容に対し、歴史的な視点から肉付けしつつ、世界の経済構造について説明してほしいと思います。21 世紀に生きていく学生の皆さんにとって、20 世紀後半の歴史を正確に理解しておくことは、それ以前の歴史を把握することと同様に、とても大切です。20 世紀後半の歴史は、現代に直結する要素を多く含むからです。

第 2 問

第 2 問は、書物を通して歴史を見るという視角の可能性を伝えるものです。問(1)と問(2)は、一つの書物がゆっくりと成立していく過程、あるいは一旦書かれた書物が転変を経ながら後世に受け継がれていく過程が、宗教や民族集団の中長期的な歴史を反映するものとなっている事例を扱っています。それに対し問(3)は、書物が権力による社会統制の手段となる場合もあったことを示しています。ここでは書物を取り上げましたが、さまざまな要素が複雑に絡み合う歴史というものを考えるための切り口は無限にあります。歴史の学習が内包するそのような豊かさを示すことを意図して、この出題を行いました。

第 3 問

第 3 問は、10 の問いを設定しています。それぞれ問うているのは、国家や王朝、制度、人物などの名称です。これらの名称にまつわる事件や出来事を通じて、過去において時代と地域を問わずしばしば見られた、あるいは現在も各地で見られる征服と支配、そしてそれらに対する抵抗といった人類の歴史について考えてほしいと思います。

解答例

問(1) 属州

問(2) 高句麗

問(3) ジャムチ

問(4) イヴァン3世

問(5) ワッハーブ

問(6) サテイー

問(7) 劉永福

問(8) (a)フランス (b)イギリス

問(9) サパタ

問(10) サイード